

皆さん、こんにちは。

今日は、ジェンダーとは何だろうということで、お話をしたいと思います。

皆さん、ジェンダーという言葉は、どこかで聞かれたことがあるでしょうか。一度くらいどこかで耳にしたことがあるという方が多いかもしれませんね。

ですが、じゃあ具体的にどんな意味、あるいはどんな定義の言葉なんだろうと聞かれると、考え込んでしまわれる方も、もしかしたら多いかもしれません。

まず、今日は初めに、ジェンダーという言葉の定義を簡単に皆さんにご紹介したいと思います。

それとあわせて、どうしてジェンダーという言葉が重要なのかということですね。

これも簡単ではありませんけれども、ご紹介したいと思います。

ジェンダーという言葉は、一般的には男女の社会的性差というふうに説明されています。で、男女の社会的性差と聞かれて、皆さん、ピンとくるでしょうか。どうですか、おそらく分かるようでわからない、というのが率直というか正直なお気持ではないでしょうか。

男女の社会的性差という言葉在先ほど伝えましたが、ジェンダーという言葉を使うようになった最も大きな理由としては、性差には2種類ある。その理解があります。すなわち、男女の間には、生物学的な違いによって規定されている性差と社会や文化、または慣習、こうしたものによって規定されている性差があるということなんです。

この後者、すなわち社会、文化、慣習、これらのものによって規定されている性差のことをジェンダーというふうに呼びます。

ジェンダーに基づく性差のほうは、100年前の日本と今の日本でも違うし、さらに言うならば、50年前と今の日本でも違います。そして、それぞれの国のジェンダーは異なるものなんです。

で、その違いですね。どんどんそれぞれの国でも変化していますし、日本でも変化している。そういうふうに表現できると思います。

分かりやすい事例をあげますと、今、日本において、看護師、あるいは保育士と呼ばれる職業がありますよね。こうした職業は少し前までは、どちらか一方の性しかつけない職業というふうに認識されていました。国家試験がそのように、作られていたといいますか、どちらかの性しか受験できない形で国家試験も実施されていたんですね。で、そういう状況が変わり、職業の名前も変わり、そして今では保育士さん、看護師さん、男女両方がつける職業になっています。今から考えると、たいへん不思議なことのようにも思

手書き第2問 三輪

えるんですけれども、どうしてなんでしょうね。

ジェンダーという性差に関する新しい認識が加わることによって、それまで、これは男性にはできない、あるいはこれは女性にはできないと思われていたことの問い直し、そして壁、ハードルの撤廃ということも生まれてきたということになります。

あるいは、その壁の撤廃が生まれやすくなる。そうした方向を作るために、ジェンダーという概念は大変役に立ってきたということがいえると思います。